
彼女

火水 風地

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼女

【Nコード】

N7786B

【作者名】

火水 風地

【あらすじ】

彼女と過ごした日々は楽しいものでした

涙は僕の頬を優しく濡らし、一筋の悲しみの雫は行き場を失くし
柔らかく僕の手を濡らす

ニコニコと笑う君は愛らしいかった

スヤスヤと眠る君は愛らしいかった

トコトコと歩く君は愛らしいかった

ああ……今僕は泣いているんだ……

パラパラとカレンダーをめくる君を愛しく想っていた

コロコロと表情を変える君を愛しく想っていた

トントんとキャベツを切る君を愛しく想っていた

泣かない約束だったのに……

パチパチと爪を切る君は僕の恋人だった

ブンブンと怒る君は僕の恋人だった

ウンウンとうなずく君は僕の恋人だった

何一つしてあげられなかった……

ランランと輝く君の瞳が好きだった

ルンルンと闊達な君が好きだった

ニヤニヤと悪だくみする君が好きだった

だから起きておくれ……お願いだから……

安らかな表情の君は美しい……でも、でも起きてくれよ……

君がいなければ生きている意味なんかない……

君は……僕の………人生だった……

先に逝ってしまっなんてずるいよ……

だから……だから……戻ってきてくれよ……

意識不明だった君がゆっくりと、重そうに瞼を上げるのを僕は確かめるように、食い入るように目を見開き見つめた

ワイワイと元気な君が一番好きだ

(後書き)

まさに蛇足

もう少しうまく書きたいとは思っていますが……感想を頂けれ嬉しく
思います。

* 修正しました。投稿する前に気づくべきでした。

それでもあれはあれでよかったのです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7786b/>

彼女

2010年10月11日01時27分発行